

真下 紀子

困難のりこえ、ともに生きる

はつらつ道政レポートNO.412 2026. 5.24 発行: 真下紀子事務所



釜山・ソウル訪問報告

真下紀子道議は、韓国との交流・友好親善を目的として活動する超党派の日韓友好北海道議会議員連盟の副会長として釜山広域市との友好提携15周年事業、ソウル特別市との友好提携15周年事業のために訪韓しました。

釜山市と釜山市議会、釜山韓日親善協会、釜山商工会議所との交流・意見交換のほか、釜山国際大学の学生と北海道への留学や就職等について意見交換しました。

道議会は政務活動費の他に原則議員一人60万円を上限とする海外調査旅費の規定があります。日本共産党道議会は、海外調査旅費の廃止を公約していません。海外調査も政務活動費で行うよう提案し、海外調査旅費は使いません。



釜山市議会を訪問し、議長と意見交換



釜山韓日親善協会・釜山商工会議所との意見交換



釜山広域市ではアンソンミン市議会議長、ソン・ヒョプ副市長と意見交換後、釜山韓日親善協会チエ・ヨンソク副会長、釜山商工会議所ヤン・ジエセン会長をはじめとする経済界のみなさんが一堂に会し、経済交流への期待をよせるスピーチをお聞きしました。釜山広域市主催レセプション会場となったホテルにはカジノがありました。入り口には入場に際しての規定が書かれていました。

釜山外国語大学では、チャンスンファン学長から説明を受けたあと、日本に関心を持つ学生らとグループトークをしました。日本に対するイメージがよく、交換留学や就職も考えている学生が多く、すでに交換留学を実施している道内大学の説明もされました。道内の産業や生活環



釜山国際大学で質問



ソウル市議会議長と



高速鉄道KTXで移動



カジノ入り口

境などについて説明し、意見交換が弾みました。
ソウル特別市には高速鉄道KTXで移動。チヨン・サンフン副市長、ソウル市議会チエ・ホジョン議長と意見交換後、大韓航空チエ・ジョンホ副社長と懇談し、整備工場を視察しました。



釜山国際大学の学生とグループトーク



大韓航空本社で意見交換・整備場視察

慰安婦少女像 防護柵撤去のニュース



真下道議は2月の訪韓の際、ソウルの在韓日本大使館前に設置された旧日本軍の従軍慰安婦問題を象徴する少女像を視察しました。

この少女像は2011年12月に設置されましたが、従軍慰安婦問題を否定し、像の撤去を求める右

派系団体が活動を強めたため20年から防護柵で囲われていました。真下道議は多重防護柵に物々しく囲まれた様子に、市民から隔絶されていると感じたと話していました。

5月6日、約6年ぶりに防護柵が撤去されたとソウル共同が報道しました。

右派系団体の代表が、元慰安婦らの名誉を毀損したとする罪で逮捕・起訴され、少女像の周辺で行っていた集会を中断しているこ

とを踏まえて地元当局が判断したと、6日に配信。

少女像を制作した彫刻家の夫婦も像を磨くなどの補修作業に当たり、妻の金曙ギョンさんは「(損壊など)被害を受ける心配もあるが、『共感の場』が取り戻せたことはうれしい」と語ったと報じられました。



自営業・フリーランス出産時支援 道が国へ要望書提出！

北海道商工団体連合会婦人部と旭川民商などは、個人事業主やフリーランスなど、国保に加入する女性が出産したときにも、社会保険同様に収入減少に対する経済的支援として出産手当を実施できるように求め、道議会で真下道議が取り上げてきました。

道が国に提出する2027年度予算要望に新たに盛り込まれたと委員会報告されました。要望書に「自営業者やフリーランスなどの対する出産前後の経済的支援について、国の責任において、企業等に雇用されているものとの差が生じないように支援の充実を図ること」が明記されています。道が国に要望したことは画期的です。

「戦争と女性の人権博物館」視察 忘れてならない戦争と女性の人権抑圧

真下道議は、旧日本軍の従軍慰安婦問題や戦時性暴力問題に取り組む「戦争と女性の人権博物館」を視察しました。

私立の博物館として2012年にソウルの麻浦(マポ)区に開館。現在も続く戦時性暴力に反対し、連帯を拡げるための活動を行っています。国を問わず、世界各国から来館者が訪れているということです。

展示されている旧日本軍の文書から慰安所が組織的に置かれた様子がわかります。あまりに残酷な歴史ですが、一人一人の女性が実名を出して被害を訴えるまでに、どれだけ苦しんで生きてきたかを伝える証言や絵などが展示されていました。真下道議が自己紹介すると、広く知っていただきたいと歓迎されました。

同館を訪れた初めてという現地通訳の方は、祖父は韓国戦争で亡くなったと話し、第二次世界大戦後も終戦を迎えていない韓国の現在と歴史を改めて認識しました。



館内にある少女像とともに



博物館入口までの外壁にはメッセージがいっぱいです



館内の展示より

道議会 道政へのご意見・ご要望をお寄せください。この道政報告のお届けをご希望の方は下記まで。

真下紀子事務所 旭川市3条16丁目左7号 TEL0166-20-0808 FAX0166-20-1616 m.noriko.office@gmail.com

